

編集方針

● これまでの経緯

日本化薬グループでは、1999年度から「環境レポート」の発行を開始し、2004年度からは、「環境安全／サステナビリティ・レポート」と名称を変更し、環境維持への取り組み情報を開示してきました。2008年度からは、企業の社会的責任（CSR）に対するステークホルダーの皆さまの関心が高まってきたことから、環境責任だけでなく、事業活動の経済的責任や社会的責任など、より幅広い視点からの取り組み内容を開示する「CSRレポート」としてCSR活動実績と具体的事例を報告しています。2010年発行のレポートからは、「第三者意見」を取り入れました。今回、2010年度の「第三者意見」で不十分とされた項目に対しては、取り組み方法や開示方法を変更し報告しています。

● 報告対象範囲ならびに報告対象期間

経済面：日本化薬株式会社ならびにグループ会社（連結決算対象子会社：21社 持分法適用会社：3社）を報告対象とし、2010年度（2010年6月～2011年5月）を報告対象期間としています。

環境面：日本化薬株式会社ならびにグループ会社（国内：6社 海外：12社）（合計19社）を報告対象とし、2010年度（2010年4月～2011年3月）を報告対象期間としています。作成にあたり環境省の「環境報告ガイドライン2007年度版」およびGRIの「サステナビリティ・レポートニング・ガイドライン第3版」を参照しています。

※2011年度の方針についても一部報告しています。

● 冊子とウェブサイトによる開示

CSRレポートは、冊子とウェブサイトによる開示を行います。

今回より、冊子は「日本化薬グループのCSRレポート ダイジェスト」としました。ダイジェストとすることで、手にとって読みやすく、私たちのCSR活動全体の把握がしやすい誌面とすることを目指しています。本冊子を利用して社内でのCSRの浸透にも努めてまいります。また、冊子の電子版はウェブサイトにも掲載します。

ウェブサイトは、すべてのステークホルダーの皆さまに最新かつ詳細なCSR情報をご覧になっていただくために、従来のCSRレポートに掲載していた各種環境データの詳細な内容や、CSR活動の事例をより充実させて開示し、最新のCSR関連ニュースも逐次更新していきます。

ウェブサイトもご覧ください

本報告書の内容および各種環境データなどの詳細情報はウェブサイト上に掲載しています。

CSR情報へのアクセス方法

- 日本化薬のウェブサイトへアクセス



- トップページ
の「CSR情報」
をクリック



<http://www.nipponkayaku.co.jp/csr/>

Contents ● 目次

02	トップメッセージ
03	編集方針
04	企業ビジョンとCSR
	さまざまなシーンに存在する日本化薬の製品
06	CSRアクションプラン
08	コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス
10	東日本大震災への対応
11	特集 中国の排水規制に対応する取り組み
12	環境安全衛生・品質保証の管理体制
14	環境負荷低減の取り組み
16	CSR活動ダイジェスト
	お客様に向けた取り組み
	従業員に向けた取り組み
	社会に向けた取り組み
19	グループ概要
	会社概要
	主な事業内容

表紙の写真について

テーマ：「企業理念を基に生命、環境保全の推進」

この鳥はカワセミの仲間で、遠く東南アジアから繁殖のために渡来してきた「アカショウビン」です。昔は、群馬県高崎市周辺の藤岡市の日野や鬼石、妙義等にも渡来していたとのことですが、近年の環境問題等で渡来の場所が限定され、個体数がとても減少し、今では日本の限られた場所にしか渡来していません。

撮影時、はじめは雌（写真左）だけが止まっていた。しばらくすると岩魚の小魚をくわえた雄（写真右）がやって来ました。雄は雌に岩魚を差し出し、雌が岩魚を受け取って求愛給餌が成立しました。初めて見る光景で衝撃をうけ、大変感動をいたしました。「アカショウビン」に限らず、他の渡り鳥の個体数も減り、野鳥の愛好家・バードウォッチャー・カメラマンとしてはとても残念な気持ちです。この写真が生態系保護の一助になれば幸いです。

撮影場所：長野県戸隠 2011年6月4日 8時29分 晴

医薬事業本部 高崎工場
今井 盛陽

